

令和3年度 第2回北九州市指定管理者の評価に関する検討会議

日時：令和3年7月14日（水）

10:00～12:00

場所：本庁舎15階 15C会議室

（各構成員はオンライン出席）

- 1 開会
- 2 評価の検証の進め方について
- 3 所管局に対するヒアリング

(1)かぐめよし少年自然の家〔子ども家庭局青少年課〕

ア 施設所管課から評価のポイントについて説明

イ 質疑応答

（構成員）

この施設は、学校側の判断で、利用者数が左右されるので評価が非常に難しい。指定管理者のインセンティブや要求水準の設定するためにも、市としての今後の戦略や方針を示していく必要があると思うが、そのあたりの議論はされているのか。

（所管課）

元々、利用者の6割から7割ぐらいが、学校活動や学校行事として参加する方々だが、学校の郊外活動も多様化してきており、宿泊しない活動へと変化してきている。

そして、今回はコロナの影響で、中学校は、教育委員会が一斉に中止という判断をした。一方で、小学校は各学校の判断ということだった。

今後は、検討過程ではあるが、学校以外の青少年団体や家族利用、北九州市街の利用者を増やしていきたいと考えている。今年度から学校利用を早い時期に固め、空いている時期を学校以外の団体に資うめ氏早く示し募集をかける試みを開始している。

学校利用が優先なのは変わらないが、学校以外の利用促進を一つの方策として考えていきたい。

（構成員）

収入が減っているが、新型コロナというマクロ的な影響により学校利用が減ったことが理由であるため、評価レベル3としたことは理解できる。経費の評価も、同じように学校利用が減ったことから自然に減少した面もあるので、評価レベルを3とするのが自然のような気がするが、4としたのはどういう部分を評価しているのか。

（所管課）

利用者の減少に伴って、職員を休ませるようなことをせず、人件費の中で、日ごろできなかった体験プログラムの見直しや、設備の修繕に取り組んだことを評価している。

(構成員)

4と評価した根拠をもう少し、しっかり書いてもらいたい。

経費には固定費と変動費があり、固定費である人件費をどううまく使われたかなどを、コメントとして記載すると良いのではないか。

フェイスブックを見ると、広報活動もしっかり頑張っている。地域や関係団体と連携しながら努力していることもうかがえたので、その点を評価しても良いのではないか。

(所管課)

指定管理者は、市民センターや学校へ出向き、自然の家で行っている木工講座を実施している。また、施設整備に長けた職員がおり、例えば除草の仕方などのノウハウを学校へ出向き、教示する活動も行っている。こうしたことを評価として記載したい。

(構成員)

養護教諭の資格を持った職員もいるという説明もあったが、人員配置の評価に専門家もいることを記載しておくとう評価として分かりやすい。

(構成員)

利用者の満足度の数字が非常に高いが、アンケートは引率の先生に取っているのか。

(所管課)

引率の先生。学校以外の団体は、子どもの意見も取り入れているとは思いますが確認が必要。

(構成員)

施設の性質上、利用者の多くは子ども。引率者や代表者ではなく、効果や課題分析のためには、子どもから直接アンケートをとる機会があると良い。

(構成員)

子供たちの郊外活動の機会が多様化してきたり、そもそも子どもの数が減ってきていたりする一方で、家族やいろんな団体でキャンプに行くなどアウトドアブームが起きており、少年自然の家自体の位置付けが少し変わりつつある。

今回の評価に直接関係しないが、施設の設置目的や社会状況の変化など、中長期的な視点で見る必要がある。

(2)小倉南図書館・曾根分館 [教育委員会中央図書館庶務課]

ア 施設所管課から評価のポイントについて説明

イ 質疑応答

(構成員)

管理運営に関する取り組みの評価レベルが4となっているが、いろんな新しいことに取り組んでいる。また、障害者の就労支援への取組みまで含めて考えると評価レベル5でもおかしくないと思うがいかがか。

(所管課)

障害者の就労支援は、市が指定管理者に、ある程度求めてやってもらっているもの。指定管理者からの提案による共同であれば評価できた。

(構成員)

カフェスペースの運営者は誰か。また、カフェの収入や管理はどういう仕組みで、どう評価されているのか。指定管理業務内なのか、指定管理者による自主事業なのかわからない。

(構成員)

地域や関係団体との連携協働に関する評価について、「外国人利用者が多いため、児童室に英語・中国語・韓国語などの絵本コーナーを設置した」と記載があるが、他の評価項目が適切ではないか。

(所管課)

承知した。

(構成員)

アンケートにも、英語・中国語・韓国語などがあると、より良いのではないか。

(構成員)

すぐには難しいかもしれないが、外国人利用者が増えているので、将来的には外国語アンケート導入を検討いただきたい。

(構成員)

利用者の選定は公平で適切に行われているかという評価項目の分析で、「利用者が調べたいものを探す時のガイドブックとなるパスファインダーを小倉南図書館のみ整備した」とあるが、具体的な内容の説明をお願いしたい。

(所管課)

日本語で言うと「調べ方ガイド」というもので、図書館に調べものに来た人が調べ方を知ることができるガイドブックみたいなもの。図書館内には、図書館内にある資料を検索できるシステム端末があり、操作方法などが簡単に書いている。

(構成員)

公平にシステム利用をして、調べものができる取り組みと理解した。

(構成員)

これも公平性の評価なのか、利用者満足度の評価なのか難しいところ。

先ほどの評価点の整合性などとあわせ、評価内容を少し検討いただきたい。

(構成員)

図書館は、ガラス張りの施設だと思うが、利用者から『西日があたり暑い』などの意見がでるのでは。利用者が、快適に使用できる設備環境は、指定管理者が考えるべきか市が考えるべきか役割分担があると思うが、こうした利用者目線で継続して使用できるような何らかの方策を考えていただきたい。

(構成員)

ハード面は、市が考える必要があると思うが、指定管理者には利用者の要望を拾い上げてもらうという整理が必要。

また、図書館ボランティアは、かなり重要だと考えるがボランティアに関する記述がないので記述するように。ボランティアの継続性は、指定管理者の努力や工夫に関わってくるはずなので、評価内容として必要。

4 意見交換（第2回目・とりまとめ）

（かぐめよし少年自然の家）

(構成員)

経費の低減に関する評価について、光熱費が下がっているのは、コロナの影響で、利用者や利用団体が減ったからという理由が大きいと思うが、その辺をどう評価するか。

(構成員)

所管課から、『利用者が減って余裕ができた時間を、修繕などに充てコスト削減を図っている』との説明があったので、その努力は評価できる。そういった定性的な部分があれば、評価欄に記載してもらい、評価点は、4のままで問題ない考える。

(事務局)

所管課に伝える。

(小倉南図書館)

(構成員)

「施設の設置目的の達成」に関する評価については、もっと客観性を持たせるため記載をすべきだ。コロナによる閉館期間を除外した実績値を記載するなどすればわかりやすくなる。

(事務局)

所管課に伝える。

- 5 その他（次回会議の説明）
- 6 閉会